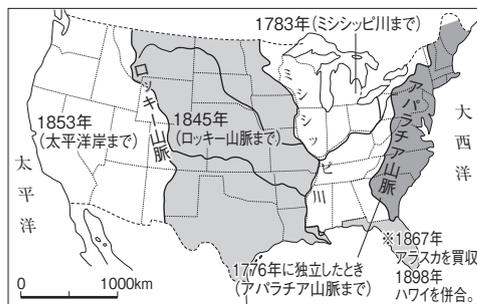
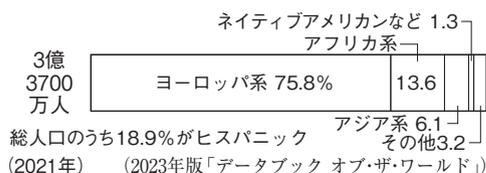


4 北アメリカ



▲アメリカ合衆国の領土の拡大



▲アメリカ合衆国の人種の構成



① 北アメリカの特色

- 自然・気候**…西部に高くけわしいロッキー山脈、東部になだらかなアパラチア山脈。中央平原をミシシッピ川が流れる。アメリカ合衆国本土の東部と西海岸は温帯、西部は乾燥帯。北部のカナダ・アラスカは冷帯(亜寒帯)・寒帯で、タイガ(針葉樹林帯)が広がる。南部のメキシコ沿岸は亜熱帯・熱帯の気候で、カリブ海では熱帯低気圧のハリケーンが発生。
- アメリカの歴史と民族**…先住民はアメリカインディアンなどのネイティブアメリカン。15世紀末にヨーロッパから移民がやって来る。18世紀に東部にあった13の植民地の人々がイギリスからの独立宣言を發表し、アメリカ合衆国を建国。18世紀にはアフリカの黒人を奴隷として強制的に連行して、綿花地域などで働かせた。現在ではアジア系や、中・南アメリカからのヒスパニック(スペイン語系の人々)も多い、多民族国家である。



② アメリカ合衆国のくらし

- 世界に広がる生活文化**…ジャズやロックなどの音楽、郊外につくられた広大な駐車場をもつショッピングセンター、ファストフードの店、24時間営業のコンビニエンスストア、インターネットなどアメリカから生まれた生活文化は世界に広がっている。
- 都市の発達**…北東部には、ボストンから首都ワシントンD.C.まで約700kmにわたって大都市が連なり、メガロポリスとよばれる。ニューヨークは商業や金融・貿易がさかんなアメリカ合衆国最大の都市で、金融の中心であるウォール街があり、国際連合の本部も置かれている。都心には、貧しい人々がスラムを形成しているところもある。
- 交通の発達**…交通手段の中心は自動車で、車社会。フリーウェイとよばれる高速道路網が整備されているが、交通渋滞・排出ガスによる環境破壊といった問題も生まれている。また、広大な国土に点在する都市を航空路が結んでいる。



③ アメリカ合衆国の農業

- (1) 世界の食料庫…農業生産額は世界有数で、とうもろこし・大豆の輸出货量も世界有数。
- (2) 大規模農業(企業の農業)…広大な農場で少ない種類の作物を大量生産。機械化が進み農民1人あたりの生産量も多いので、生産費や作物の価格が安い。アグリビジネス企業のうち、少数の巨大な穀物メジャーが穀物の価格に大きな影響をあたえる。肉牛をフィードロット方式で飼育。また、バイオテクノロジーで新しい品種の開発も行われている。一方、大量の農薬や化学肥料を使い地力が低下し、表土が流れる土壌侵食が問題となった。そのため、斜面の土地で表土が流れにくいように等高線耕作が行われている。
- (3) 適地適作…気候や土壌に合った作物を栽培しているので、農業地域が分かれている。グレートプレーンズでは、井戸を中心にかんがい用の機械を回して水をまく、センターピボット方式でとうもろこしや小麦を栽培している。



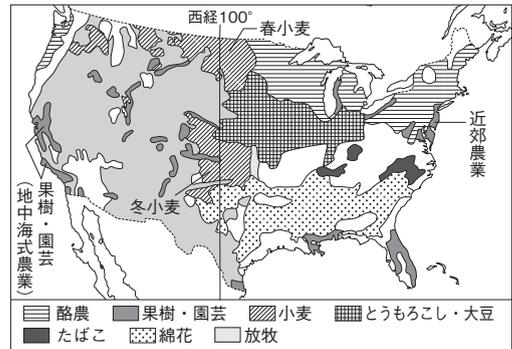
④ アメリカ合衆国の鉱工業

- (1) 鉱産資源…メサビの鉄鉱石、アパラチアの石炭、メキシコ湾岸・カリフォルニアの石油・天然ガスなど。近年、シェールガスの開発が進む。
- (2) おもな工業地域…水運と鉱産資源をもとに五大湖周辺に早くから工業地域が発達。北緯37度以南は、土地や税金が安いことから1970年代以降に工業が発達し、サンベルトとよばれ、情報通信技術(ICT)産業や航空宇宙産業などの先端技術(ハイテク)産業が集まっている。サンフランシスコ近郊のサンノゼ周辺には電子産業が集中し、シリコンバレーとよばれる。
- (3) 多国籍企業…世界に工場や支店を持ち、現地の資本や労働力を生かした経営を行っている。
- (4) 貿易…日本との貿易が大幅な赤字となっていたため貿易摩擦がおこった。アメリカ合衆国・カナダ・メキシコは、1994年に北米自由貿易協定(NAFTA)を結び、統一市場の形成を目指してきた。2020年には、米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)が発効。



⑤ その他の国々

- (1) カナダ…世界第2位の国土面積。イギリス系・フランス系の人々が中心で、フランス系が多いケベック州で独立を求める動きもある。小麦などの穀物や木材・パルプの生産がさかん。
- (2) メキシコ…メキシコ高原が広がり、首都メキシコシティの標高は約2300m。石油・銀を産出。
- (3) パナマ…太平洋とカリブ海・大西洋を結ぶパナマ運河がある。



▲アメリカ合衆国の農業地域

	ロシア連邦	アメリカ合衆国	ウクライナ	その他
小麦 小計1億9853万t	18.8%	13.2%	10.0%	9.1%
とうもろこし 小計1億9289万t	アメリカ合衆国 26.9%	19.1%	ブラジル 17.9%	14.5%
大豆 小計1億7337万t	ブラジル 47.9%	アメリカ合衆国 37.2%	11.1%	その他 11.1%

(2020年) (2022/23年版「世界国勢図会」)

▲小麦・とうもろこし・大豆の輸出割合



▲アメリカ合衆国の鉱工業

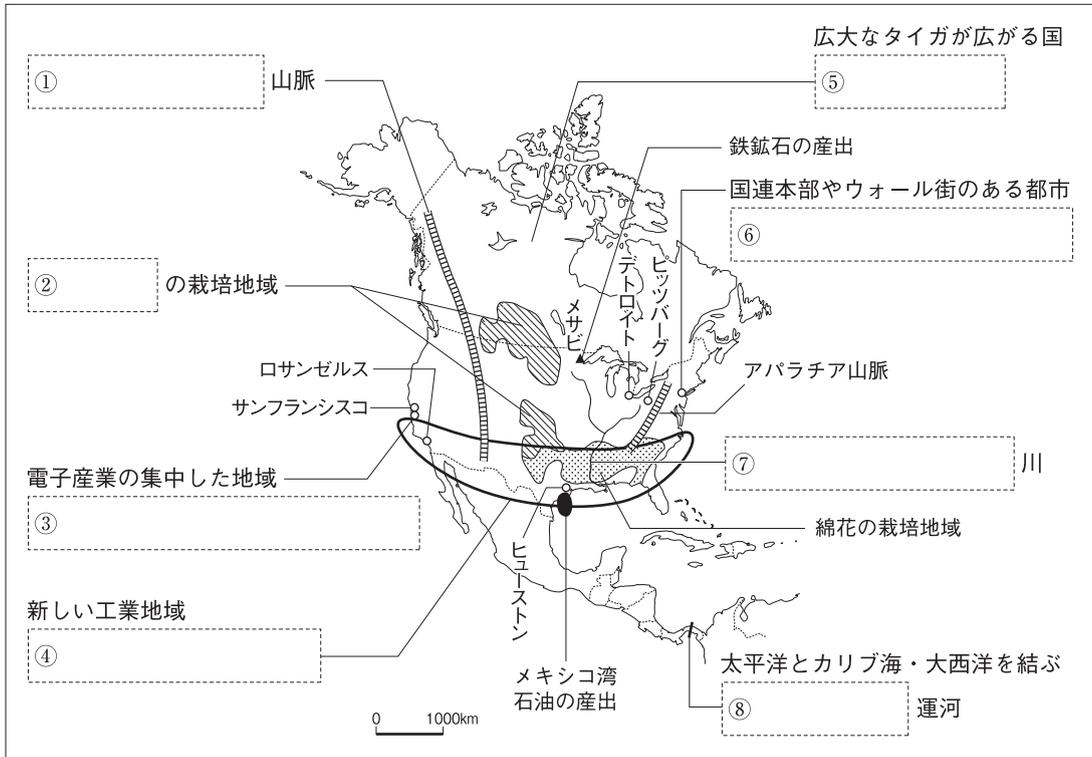
○ 基本演習 ○

☑の 1回目
正答数

2回目
問/26問

問/26問

1 [北アメリカ] 次の図の[]にあてはまる語句を答えなさい。



2 [北アメリカの特色] 次の[]にあてはまる語句を答えなさい。

- ☑(1) 北アメリカ西部には高くてけわしい[]山脈が連なっている。
- ☑(2) 北アメリカ東部には低くてなだらかな[]山脈が連なっている。
- ☑(3) (2)の山脈の西には、北アメリカ最長の[]川が流れる。
- ☑(4) 北アメリカ北部のアラスカやカナダは、タイガが広がる[]や寒帯の気候となっている。
- ☑(5) 北アメリカの先住の人々はアメリカンインディアンなどの[]とよばれる人々で、狩猟を中心とした生活をしてきた。
- ☑(6) 15世紀末から、イギリスなど、[]州からの移民が北アメリカに移住し、植民地化を進めた。
- ☑(7) 北アメリカ東部につくられた13の植民地は、18世紀に[]からの独立を宣言し、アメリカ合衆国を建国した。
- ☑(8) アフリカ大陸から黒人が強制的に連れてこられ、[]として働かされた。
- ☑(9) 近年は、メキシコやプエルトリコなどから移住してくる、スペイン語系の[]の人口が急増している。

2の答え

- (1) -----
- (2) -----
- (3) -----
- (4) -----
- (5) -----
- (6) -----
- (7) -----
- (8) -----
- (9) -----

3 [アメリカ合衆国の暮らし] 次の文にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 北東部のボストンからワシントンD.C.まで、約700kmにわたって大都市が連なる地域。
- (2) 国際連合の本部がある、世界の政治・経済の中心都市の1つ。

4 [アメリカ合衆国の農業] 次の問いに答えなさい。

- (1) アメリカ合衆国は、小麦・とうもろこし・大豆などの農業生産・輸出品がたいへん多いことから、何とよばれているか。
- (2) アメリカ合衆国では、気候や土壌に合う作物を集中的に栽培する農業が行われている。これを何というか。
- (3) アメリカ合衆国の西経100度上のあたりの北部・中部で栽培がさかんな農作物は何か。
- (4) アメリカ合衆国の南部では、繊維原料となる農作物の栽培がさかんである。この農作物は何か。

5 [アメリカ合衆国の鉱工業] 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) メキシコ湾岸で特にさかんに産出される鉱産資源は□である。
- (2) 近年、アメリカでは、天然ガスの一種、□の開発が進んでいる。
- (3) 五大湖沿岸に位置する□では、20世紀の初めに世界で最初に自動車の大量生産が始まった。
- (4) 北緯37度以南の□とよばれる地域は、ヒューストン・ロサンゼルスなどの都市が位置し、1970年代以降に工業が発達した。
- (5) サンノゼ周辺の、電子産業が集中している地域を、□とよぶ。
- (6) アメリカ合衆国には、世界各地に工場や支店をもち、現地の資本や労働力を生かして経済活動を行っている□が多くある。
- (7) アメリカ合衆国と日本との貿易では、かつて、日本の大幅な貿易黒字が原因で□がおこった。
- (8) 2020年、米国・メキシコ・カナダ協定(略称□)がNAFTAに代わり発効された。

6 [その他の国々] 次の文にあてはまる国名を答えなさい。

- (1) 国土面積が世界で2番目に広く、小麦や木材・パルプの生産・輸出がさかんな国。
- (2) リオグランデ川でアメリカ合衆国と接する、広く高原におおわれ、石油や銀の産出量が多い国。
- (3) 太平洋とカリブ海・大西洋を結ぶ運河がある国。

3の答え

- (1) -----
- (2) -----

4の答え

- (1) -----
- (2) -----
- (3) -----
- (4) -----

5の答え

- (1) -----
- (2) -----
- (3) -----
- (4) -----
- (5) -----
- (6) -----
- (7) -----
- (8) -----

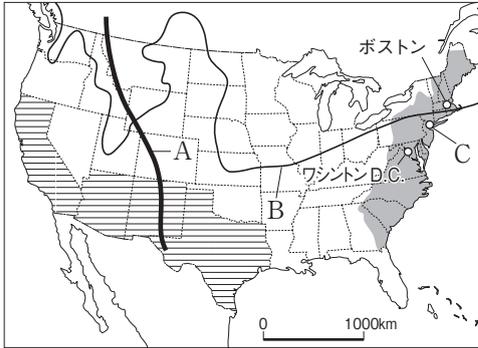
6の答え

- (1) -----
- (2) -----
- (3) -----

〇〇 練習問題 〇〇

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のAの山脈名を答えなさい。
- (2) 地図中のBの線より北の、北アメリカ北部に広がる気候帯を次から選び、記号で答えなさい。また、この気候帯に広がる針葉樹林帯の名を答えなさい。



- ア 冷帯(亜寒帯) イ 熱帯 ウ 乾燥帯 エ 温帯
- (3) 地図中の[]は、アメリカ合衆国で最初に独立した13州を示している。独立をはたしたのは何世紀のことか。また、どこの国から独立したのか。国名を答えなさい。
 - (4) 地図中に[]で示した州は、メキシコをはじめ中・南アメリカから移住してきたスペイン語系の人々が、全人口の30%以上を占めている。この人々を何というか。
 - (5) 地図中のCはアメリカ合衆国最大の都市で、国際連合の本部が置かれている。この都市名を答えなさい。
 - (6) 地図中のボストンからワシントンD.C.まで約700kmにわたる地域には、Cなどの大都市が連なっている。この地域を何というか。

1の答え

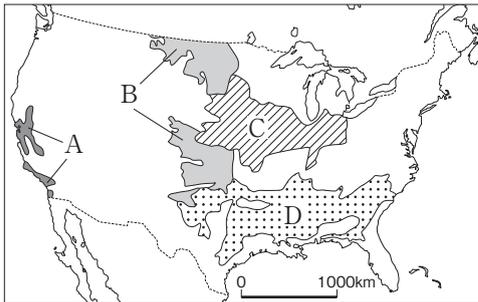
- (1) _____
- (2)記号 _____

- (3) _____ 世紀

_____ 国名
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のA～Dの地域でさかんに栽培されている農産物を、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。



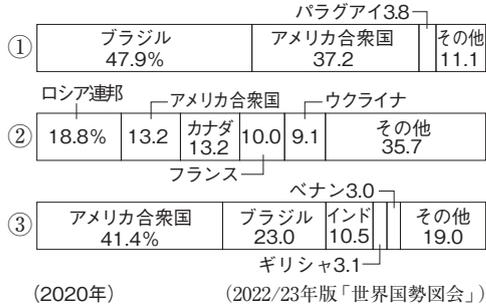
- ア 綿花 イ 小麦
ウ とうもろこし エ オレンジ オ カカオ豆
- (2) Bの地域などでは、大量の農薬や化学肥料を使用したため、地力が低下して表土が流れてしまうという問題がおこっている。これを解消するために行われている耕作方法を何というか。
 - (3) Bの地域などで行われている、井戸を中心にアームを回して水をまくかんがい方法を何というか。

2の答え

- (1)A _____
B _____
C _____
D _____
- (2) _____
- (3) _____

(4) Dの地域では大規模な農園で農業が行われているが、かつてはどのような人々を使って農作業をさせていたのか。

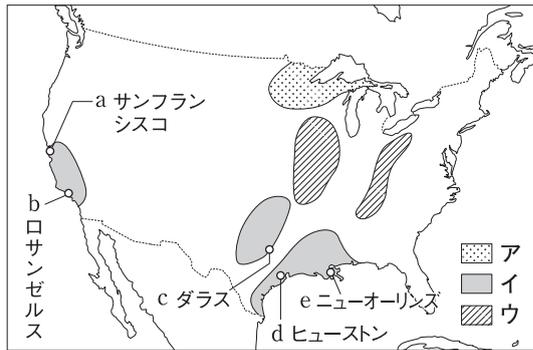
(5) 右のグラフは、アメリカ合衆国が多く生産している農産物の国別輸出割合を示している。①～③にあてはまる農産物を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。



ア 小麦 イ 綿花 ウ 大豆

3 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③の鉱産資源の産出のさかんな地域を、地図中のア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

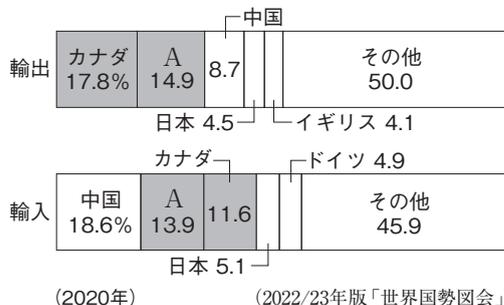


- ① 石油
- ② 石炭
- ③ 鉄鉱石

(2) 地図中のaの都市の南にあるサンノゼ周辺は、そこでさかんな産業の特色から、何とよばれているか。
 (3) 地図中のb～eの工業都市を含む、1970年代以降に工業がさかんになってきた地域を何というか。

考(4) (3)の地域で工業が発達した理由を簡単に答えなさい。

(5) 右のグラフは、アメリカ合衆国の貿易相手国を示している。グラフ中に■で示した2か国とアメリカ合衆国が、貿易をさかんにするために結んでいる



協定の略称を次のア～ウから、また、グラフ中のAに共通してあてはまる国を次のカ～クからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ASEAN イ EU ウ USMCA
 カ メキシコ キ キューバ ク パナマ

(4) -----

(5)① -----

② -----

③ -----

3の答え

(1)① -----

② -----

③ -----

(2) -----

(3) -----

(4) -----

(5)略称 -----

国 -----